

連載

# チャレンジする Someone NEWS

～挑戦者の履歴書

第39回

## 吉岡しげ美氏(音楽詩家・作曲家)

### ——自身が切り開いた「音楽詩」の世界で45年

一般社団法人 洗楓座 代表理事

佐藤建吉

#### ▼茨木のり子を音楽詩

筆者は茨木のり子の詩と音楽の会を、2019年から毎年開催している。その当時、毎月夕方に開催される「日比谷梁山泊」という放談会に参加していた。世間は狭いもので、その会には古地図の電子版を作成している小島豊美氏もたまに参加していた。朗読会の話をする時、同氏がプロデュースした吉岡しげ美のCDをサンプルとして2枚持参して事務所に来てくれた。そのCDのタイトルは、茨木のり子の代表作である『私が一番きれいだっただとき』をつけている。早速、聴いてみた。

このCDには、『私が一番きれいだっただとき』の音楽として次のように紹介されている。武蔵野音楽大学、日本女子大学、同大学院修士課程修了。音楽大学卒業後、舞台・映画の音楽、テレビ・ラジオの作曲・編曲を担当。1977年以降、日本の女性詩人の詩や短歌に曲をつけ、ピアノの弾き語りをはじめ、国内はもとより、アメリカ、中国、フランス、ドイツなど海外においても積極的に活動し、各地で好評を博している。

岡氏の場合、個性豊かな表現者であり、氏のほか私たちが同様に自身の世界をつくり出す表現者として活躍している。その手段が氏の場合、詩であり音楽であり、結果として音楽詩の完成であった。

岡氏の子供時代は、一人っ子でピアノなどの習い事で育ったという。ピアノは、彼女の友達であった。小学校6年の時に父親が癌を発症入院、母親は看病で一人ぼっちの時間が多くなった。そして中学3年になると父親が亡くなった。その寂しい思いを紛らすために作詞、作曲した。それは、日記を綴るような思いであったという。

#### ▼音楽詩の広がり

少し重なるが、音楽詩へさらに動機づけになったのが、女ならではの結婚と出産、そして養育であった。しげ美の旧姓は「難波田」。戦国時代から続く武家の家柄。自己中心という失礼になる心というは失礼になるかもしれないが、一人っ子で自身の思いで、逆境においても切り開いてきた「自分」ではあるが、実は分身である「子供」のなんとという自己中心さ、時や場所を選ばないで泣きわめく、しかしそれは愛情を注がなければならぬ対象。これも、生きることであり、生かすことである。こうした境遇のアンテナに同調した作品には、与謝野晶子があり、その人と作品であった。晶子自身が多かった。晶子が多くの子供がいて、複雑な境遇の中で生きて、作品を詠んだ。また、同じように、女の立場でとらえられて表現された境遇の複雑性と心情を語ったのが万葉集であり枕草子である。

海外での発表 吉岡氏は、大学教員と結婚し、夫の在外研究でアメリカのカリフォルニアに滞在した。それを機に、カリフォルニア大学バークレー校にて、アフ

#### ▼海外での発表

吉岡氏は、大学教員と結婚し、夫の在外研究でアメリカのカリフォルニアに滞在した。それを機に、カリフォルニア大学バークレー校にて、アフ

への想いが、アナウンサーとの対話で語られた。2022年7月2日に筆者も聴いた。

#### ▼国内でのトピックス

2011年に東日本大震災で被災した岩手県大槌町の子どもたちを支援する「被災した大槌子ども基金」を設立し支援コンサートを行っているという。

最近の話題では、2021年10月13日&20日にNHKラジオ深夜便に出演して、ラジオ深夜便「わたし終いの極意」に出演して、2週で前編&後編で、女性詩人の詩と共に生きて45年について、今までどこから

コンサートで弾き歌う吉岡しげ美氏



「だれかに あいたく て／なにかに あいたく て／生まれてきたー」 与謝野晶子の『君死にた』 このCDには、茨木のり子の詩だけでなく、金子みすゞの『ユメ』『髪』(キングレコード)『金子みすゞの世界』(東芝EMI)『花言葉』(日本コロムビア)他、著書

岡氏の場合、個性豊かな表現者であり、氏のほか私たちが同様に自身の世界をつくり出す表現者として活躍している。その手段が氏の場合、詩であり音楽であり、結果として音楽詩の完成であった。

吉岡氏は、大学教員と結婚し、夫の在外研究でアメリカのカリフォルニアに滞在した。それを機に、カリフォルニア大学バークレー校にて、アフ

http://shigemini.net/



- ◎ドイツ・ベルリン(複数回)、ハイデルベルク大学
- ◎ポーランド・クラクフ
- ◎チェコ・プラハ
- ◎ロシア・ウラジオストク
- ◎フィリピン・マニラ
- ◎モンゴル・ウランバートル(複数回)
- ◎韓国・ソウル(複数回)
- ◎中国・北京、鎮江市(七夕交流コンサート)
- ◎「情縁七夕」2007
- ◎2013には毎年旧暦の七夕の日、ほかに
- ◎2017年。これにより、2010年8月
- ◎吉岡氏は「鎮江市音楽詩で表現する方法を市栄賞市民」の称号が授与されている。
- ◎2011年に東日本大震災で被災した岩手県大槌町の子どもたちを支援する「被災した大槌子ども基金」を設立し支援コンサートを行っているという。
- ◎アメリカ・サンフランシスコ(複数回)、ニューヨーク、ロサンゼルス(複数回)、サンディエゴ、以下、日本語を学んでいる学生が主なる受講者の講演「ミニコンサート」。サンフランシスコ大学、サンフランシスコ州立大学、カリフォルニア州立大学チコ校、エルセリートハイスクール
- ◎フランス・パリ(複数回)